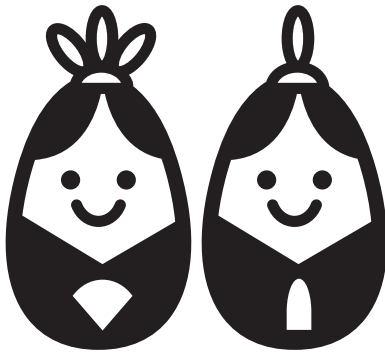


 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

今月の便り



ジャガイモ

この季節には毎年、春先まで寝かせたジャガイモは美味しいと思う。糖度が上がって美味しいのは適切な温度管理、遮光をして保存しているから。もしも光を受けて緑色に変色した部分や芽が出たりしていたらそのまわりは食べることはできない。ソラニン、チャコニンなど、毒が生成されているからだ。食べてしまうと吐き気や腹痛、頭痛などになる。毒が生成されたジャガイモは口に入れると美味しくないので私は以前食べたことがある。おやつにしようと塩茹でしていざ口に入れ飲み込む直前口内が最終味覚チェックをした瞬間毒を感じたのだが、勢いでそのまま飲み込んでしまったのだ。食い意地がはった話である。なんともいえないえぐさ。それで

も全部そうなのか？ともう一口、二口。その結果吐き気と気持ちの悪さで2時間ほど寝込んだのである。どうぞ家庭菜園のジャガイモは土から出ないように育て、収穫後の保存は新聞紙で包んでダンボールに重なり過ぎないように入れて凍らない低温状態(3度ぐらい)の暗室で。またからだに毒を持つ植物はたくさんあるけれど堆肥に積んでもきちんと分解されれば無害になるということです。(きのした)

イカリソウ

碓草(いかりそう)は花の形が碓のような形をしていることから名づけられました。春を飾る山野草のひとつで、お茶花などにも良く使われます。「イカリソウ」は淡いピンクの花ですが、北海道では花が淡い黄色の「キバナイカリソウ」が自生しています。キバナイカリソウは高さが20~30cmの多年草で、北海道の留萌以南~近畿以北の日本海側に多い植物です。日本ではそのほかにトキワイカリソウ、バイカイカリソウなどがあります。トキワイカリソウは冬も葉が枯れないので「常盤」、バイカイカリソウの花には距がなく、むしろ梅の花に似るので「梅花イカリソウ」と呼ばれます。これらの本州原産のイカリソウも岩見沢では庭植えで越冬し花を楽しむことができます。また海外原産のものや多様な園芸品種があり紫やオレンジの花のイカリソウなどいろいろな種類がある宿根草です。夏場の直射日光を避け落葉樹の下や半日陰に植えるとよく育ちます。(いとう)

春一番の庭仕事

昨年からの豪雪ですっぱり埋まった庭木ですが、春を迎える前にひと仕事しなければなりません。背丈より高い果樹や花木も、積もった雪の上を歩きながら剪定できます。春の剪定を嫌うモミジなども上旬であれば間に合うかもしれません。念のため小枝の切り口から水が出ないかを調べてから行いましょう。雪で支柱が倒れかけた庭木は周囲を掘り上げます。また雪解けとともに下に引きずられた枝は、折れたり裂ける前に掘り出します。すでに折れてしまった幹枝があれば早めに切り戻し、病気にかかりやすいサクラや果樹類などは切り口に癒合材を塗っておきましょう。(かわはら)

多肉植物について

セダムが大きく徒長してどうしたら良いのでしょうか？問い合わせ電話相談が増えてきます。冬の間水やりされたセダムはご機嫌よく伸び伸びで枝垂れてきました。あらら～と状況をいくつか質問形式で答えて頂きました。伸びたセダムは夏の高温期に株元が蒸れて腐ることもあります。春の3-5月か秋の9-10月頃に切りましょう。2、3枚の葉を残して構いません。切り戻した株は新芽を出す時にかなりのエネルギーを使うのです。株は中に十分な養分を与えるために液肥であれば月1回、緩効性肥料は2ヶ月に一回規定量追肥として施肥します。切り戻しと同時に根鉢の入れ替えも2/3程度落とし多肉植物用の土で植え替えるのが良いです。切った多肉は赤玉土などの上に並べて置くと元の姿に形成されて増やすことができます。長い冬から解放される3月少し春めいて来た暖かい日にトライして見てください。(たかはし)

今年の雪解け

日本では年末から厳しい寒さと大雪に見舞われていましたが、2月半ばには三寒四温の春の兆しがやってきました。今冬はラニーニャ現象により日本付近に寒気が流れ込みやすく、日本海側を中心に大雪となり記録的な大雪となった岩見沢、未だ積雪が例年の1.5倍と多く、路地が顔を出すのはいつになるのでしょうか。家庭菜園や花壇づくりへの影響が心配ですが、「何とかなるさ」といった気持ちで春を待ちましょう。と言うのも私の長い人生で体験したことです。大雪の年は雪解けは遅れますが豊作の年となる傾向にあります。これは私の体験だけでなく、裏付けとして今冬の寒波や大雪は赤道付近に発生したラニーニャ現象で、2020年12月10日、気象庁がラニーニャ現象監視速報を発表し、太平洋ラニーニャ監視海域では基準値より1.2℃低い海面水温で、この現象は1年間続くと予想しています。ラニーニャ現象が発生すると、日本海付近では夏季は太平洋高気圧が北に張り出しやすくなり、気温が高くなる傾向にあり、冬季は西高東低の気圧配置で気温が低くなる傾向があります。このため、日本で「夏は猛暑、冬は厳寒」となります。気象庁では、海水温度の5か月移動平均値が+0.5℃以上となった場合「エルニーニョ現象」、-0.5℃以下になった場合「ラニーニャ現象」としています。昨年(2020年)は、猛暑が短く台風の上陸もありませんでしたが、その反動が今年来ないことを願っています。(ながやす)

あなたは読めますか...? 難読漢字(草・花・木)

葵	アオイ	薊	アザミ	紫陽花	アジサイ
敦盛草	アツモリソウ	翌檜	アスナロ	文目	アヤメ
虎杖	イタドリ	公孫樹	イチヨウ	白粉花	オシロイバナ
燕子花	カキツバタ	桔梗	キキョウ	李	スモモ
金盞花	キンセンカ	擬宝珠	ギボウシ	梔子	クチナシ
芥子	ケシ	辛夷	コブシ		
山茶花	サザンカ	皐月	サツキ		
仙人掌	サボテン	百日紅	サルスベリ		
堇	スミレ	石楠花	シャクナゲ		
芍薬	シャクヤク	水仙	スイセン		
躑躅	ツツジ	撫子	ナデシコ		
風信子	ヒヤシンス	酸漿	ホオズキ		
竜胆	リンドウ	蓮	ハス		

ちょっと
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第七十九回

フロリバンダローズ

ハンス ゲーネバイン ローズ

Hans Gönnewein Rose

作出国：ドイツ

作出者：Evers

作出年：1999年（2009年発表）

ハーディネスゾーン：不明

繰り返し咲き

交配：Bassino® × Pierre de Ronsard®

雪解けが近づくと、バラの様子はどうかろう？とそわそわします。今年が多雪だったため凍害の心配はなさそうですが、春先の冷風や蒸れなど、雪が解けても気になることがたくさんです。今回はそんな心配が少ないバラをご紹介しますと思います。

ハンスゲーネバインローズは、ピンク色でカップ咲きの中輪です。沢山の花弁を抱えるように咲き、咲きかけのつぼみはおまんじゅうのように丸っこく大変愛嬌があります。一方で、フロリバンダ系統で房咲きとなり、ころころした花がかたまりとなって咲く姿は、かなりボリュームで迫力があります。秋花も非常に花付きがよく元気に咲いてくれて、色鮮やかでカップ咲きの形もしっかりとしてきます。一番花はほんの少し遅咲きです。枝ぶりは横張りにならないブッシュ樹形で、重たそうな花に耐うる丈夫な枝を持っています。葉はツヤツヤの照り葉で濃い緑色と花色のコントラストが非常に映えます。当園では特別目立った病害はなく、ハーディネスゾーンは不明ですが凍害も深刻ではなく、年々株が充実していき元気なので、凍害による影響は少ないように思います。普通どおりの雪囲いをしてあげれば問題ないでしょう。

交配をみてみましょう。母親は赤色半八

重咲きの Bassino®、父親はかの有名な Pierre de Ronsard® です。Bassino® は這い性、Pierre de Ronsard® はクライマー。面白い組み合わせですよ。可愛い花はお父さん似、健康的な照り葉はお母さん似、樹形は足して2で割った感じでしょうか。ちなみに、Bassino®はカウンティローズシリーズです。Rosa wichuraiana 系統を引き継いだ Sea Foam と Rosa kordesii の Red Max Graf から生まれました。これを聞いただけで、もう寒さや病気に弱い気がしません。それにしても、なかなかの照り葉の一族ですね。

名前は、ドイツにあったナーセリーのオーナーだった同氏に由来しています。Gönnewein 社はシュタインフルトで75年続いたナーセリーですが、2003年にドレーゲル（現在の RosenPark Dräger）に売却しました。バラはタンタウ社から2008年に捧げられましたが、本人はそのパーティーには出席することができず、その1週間後に亡くなったそうです。とても良いバラで交配も優秀ですが、コンクールでは特に良い成績は残っていません。作出年の1999年から日の目をみることはできていませんでしたが、Gönnewein 氏のおかげでこのバラに出会うことができました。

令和3年度 いわみざわ公園バラ園作業ボランティア『トムテ』のなかま 募集



バラ園を一緒に育みませんか？

皆様にもっと親しんでいただけるバラ園になっていきたいという想いを込めて、作業ボランティアを募集しています。『トムテ』とはボランティアの愛称で、そのお家のお手伝いをしたり守ってくれる、スウェーデンの妖精の名前です。

- ☑ 無農薬栽培だから安心。
- ☑ バラの知識がなくても大丈夫。
- ☑ 除草や清掃が好きな方も大歓迎！
- ☑ バラ園以外にも駅前などの花壇も管理しています。
- ☑ 岩見沢市民でなくてもOK！
気軽にワイワイ活動しています。

活動日

- ①金曜日（定例活動日）
- ②『ばらゼミ』開催日の
午後から
- ③その他自由

参加には登録が必要です。詳しくはお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先 いわみざわ公園バラ園（室内公園 色彩館）

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 TEL 0126-25-6111

URL : <http://www.iwamizawa-park.com> Eメール : info@iwamizawa-park.com

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



●3月6日（土） 13:00~15:00 色彩館でスケッチしよう

料金：無料 定員：10名 講師：藤川 志朗さん イラストレーター

●3月21日（日） 13:00~15:00 家庭果樹の楽しい管理

料金：無料 定員：18名 講師：内田 哲嗣さん 中央農業試験場

●3月27日（土） 10:00~12:00

ばらゼミ①バラの基本。系統を理解するためのその系譜。

料金：無料 定員：18名 講師：工藤 敏博さん ローズグロワー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話 : 0126-25-6111

ホームページ : <http://www.iwamizawa-park.com/>

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方

× 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。